

北中学校だより

楓

(かえで)

令和7年10月3日(金)

第32号 東金市立北中学校

〒283-0803 東金市日吉台 1-20

TEL 0475-50-2288

発行者：校長 久我 和廣

学校教育目標

創 【未来を拓く】

～輝く瞳、笑顔とあいさつ、光る汗～
めざす生徒像

「考え、行動し、夢をもって成長する」生徒

- (1) 学び合い、高め合う生徒⇒輝く瞳・・・(知)
- (2) 認め合う、心豊かな生徒⇒笑顔とあいさつ・・・(徳)
- (3) 心身共に健康な、たくましい生徒⇒光る汗・・・(体)

校訓 自分らしさを光らせて

めざす学校像

- (1) 学力向上に努める学校
- (2) あいさつと歌声が響く学校
- (3) 安全で安心してすごせる学校
- (4) 地域とともに歩み、信頼される学校



脚下照顧 (きやつかしようこ)

はきものをそろえると
心もそろう
心がそろうと
はきものもそろう
ぬぐどきにそろえておくと
はくどきに心がみだれない
だれかがみだしておいたら
だまってそろえてあげよう
そうすればきっと
世界中の人の心も
そろうでしょう。



長野県円福寺 藤本 幸邦 住職

9月下旬、昇降口の靴箱をのぞいてみると、どのクラスも外履きや上履きが、きちんとそろえられていました。きっと生徒一人一人が常に意識して、自分の靴を入れているのでしょう。



また、上の詩は、長野県にある円福寺の藤本幸邦住職が作った詩です。

自分の靴をそろえずに脱ぎっぱなしにするという行動は、他の人がどのような気持ちになっているのか、ということを全く考えていない行動です。自分さえ良ければよいといったとても自分勝手な考え方だとも言えます。反対に、自分の靴をきちんとそろえられることができる人は、心が穏やかで、自分の行動を冷静に考え、他の人がどんな気持ちになるかも考えることができる人です。しかも、そのような人は、他の人が乱した靴を黙ってそろえてあげることができる人でもあるのです。

このように一人一人が自分のことを落ち着いて見つめたり考えたりしながら行動することは、とても大切なことです。

他の人の気持ちにも考えを巡らせることができるようになれば、争いごともなく、きつといじめもなくなるのではないのでしょうか。お互いのことを思いやる平和な世の中になっていくことにつながるのだと思います。

※脚下照顧・・・自分自身をかえりみること
少林寺拳法の教えでは、入門の際、最初に靴をそろえるところから始められるそうです。

第1回学校運営懇談会

本年度第1回目の「学校運営懇談会」を9月5日に開催予定でしたが、台風15号の影響で中止となりました。

なお、学校運営懇談会は、授業参観、施設・設備の観察等を行い、学校運営の改善に向けた取り組みが適切に行われているかを評価し、教育活動への助言等をいただきながら、学校改善につなげるための会として運営しています。

本年度の委員の皆様は、13名です。



相京 邦彦 様	(後援会会長)
宮澤 敬人 様	(学区市議会議員・後援会顧問)
三須 芳雄 様	(後援会副会長・日吉台地区区長会長)
今関 義彦 様	(後援会副会長・源地区区長会長)
竹内 方子 様	(日吉台地区民生児童委員)
山本 正史 様	(源地区民生児童委員)
小島 孝子 様	(主任児童委員)
京増久美子 様	(主任児童委員)
塚田 弥生 様	(主任児童委員)
石川 裕将 様	(元小学校長)
秋元 文彦 様	(日吉台小学校長)
湯浅 顕次 様	(日吉台小父母と先生の会会長)
飯田 尚子 様	(北中父母と先生の会会長)